



県議会

とちぎ自民党議員会報 vol.5

活動方針

昨年3月11日、日本列島は大きな悲しみに包まれました。本県でも土砂崩れ等による大きな災害、放射性物質拡散による被害等が発生し、更に9月には台風被害に見舞われました。復旧復興が第一であります。しかし同時に、自然界が芽吹きを春を迎えるように、元気度日本一を目指して「とちぎの新しい芽」を育てる取組が大切だと考えます。そのような考え方に基いて、我々は、新年度予算について24億円の上乗せ要望を知事に行いました。結果として、我々の要望を加味した予算案が昨日3月23日、県議会本会議で可決成立致しました。政策については、我々は104項目に及ぶ政策要望書を提出致しております。今後とも、県民の皆様の声や市町の現状に基づいた、しっかりとした政策の提言を行い、その実現に邁進して参りますので、県民各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

震災からの復興、「とちぎの新しい芽」を芽吹かせる予算!!

新年度予算で24億円の上乗せを実現

骨格には知事執行部との意見交換が反映されている。その上で我々は執行部原案に予算額の上乗せを要望、実現させた。以下は、その主な内容である。同時に要望した政策要望は104項目に及んでいる。

実現した予算

- **プレミアム付宿泊旅行券「元気度 日本一 とちぎ券」(仮称)▶▶**
とちまるショップ等で2万枚販売 **5,000万円**   ※東京スカイツリー®
- **いちご産地グレードアップ事業費▶▶**
新品種「栃木i27号」の実証栽培費 **3,840万円**  ※新品種「栃木i27号」
- **地域防災組織支援事業費▶▶** 自主防災組織を育てる **500万円**
- **とちぎの家づくり支援事業費の拡大▶▶**
県産木材使用時の補助拡大(最大40→60万円) **1,160万円**
- **減災対策推進調査費▶▶**
超過洪水対策など、被害を最小に抑える減災を目的とした河川改修のための調査費 **3,000万円**
- **緊急防災・減災対策事業費▶▶**
地震や豪雨災害から県民の尊い命・貴重な財産を守る。落石対策や橋梁の耐震補強、河川の改修、緊急輸送道路や避難所周辺の歩道の整備 **20億円**
- **大規模災害時治安維持機能確保対策費▶▶**
警察署全署の非常用電源設備の整備前倒し **7,000万円**
- **交通安全施設防災緊急対策事業費▶▶**
交通事故抑止効果の高い高輝度道路標識・標示の整備等 **2億円**
- **その他、私立高校授業料減免対象者の拡大、看護職員修学資金貸与の対象拡大等**

私たちは、「実行力」

県民の声をタイムリーに県政に反映させるために!!

4月から全国初の「通年議会」へ

とちぎ自民党議員会が議会改革をリードしました

定例会は年4回、加えて臨時会を随時開催できますが、議会の招集権は知事のみが持つ、という現行ルールが壁となり、東日本大震災の際にも議会における適時適切な審議機会が十分に確保できなかったという状況にありました。そこで、私たちは、会期のあり方及び委員会のあり方について検討を重ねた結果、**定例会の会期を1月から12月までの概ね1年間とする「通年議会」を導入**することが有効であるとの結論に達しました。そこで、議会内に「議会あり方検討会」を設置し、集中して議論を深める中で、議会改革をリードしました。この通年議会の導入により、会期日数が飛躍的に増加しますので、所要の審議が必要とされる場合に**本会議を柔軟に開催**することで、**十分な審議機会が確保**できるようになります。また、通年議会の導入に伴い、**常任委員会における政策立案機能を強化**していくことも必要となります。そのために、常任委員会において**特定テーマを設定**し、専門的知見等を活用しつつ**調査研究に取り組める**新たな制度を設けることとなりました。平成24年4月からの導入をスタートに、責任ある活発な議会活動を進めるために「議会あり方検討会」は継続させ、引き続き議会改革の議論をリードしていきます。

県民生活の安全・安心のために!!

放射能被害を調査

具体策を知事に要望

福島第一原発事故の影響による樹皮(パーク)の滞留問題など、数々の現場に出動して県民の生の声を聞きました。**観光業の風評被害への本賠償**に関しては、各県の実情に応じた算定方法や請求手続きの簡素化を図るよう求めた要望書、**観光地の風評被害の払拭と観光誘客の促進**に関する要望書を提出。また、**原木シイタケ**のほだ場の現地調査を行い、収入の道が閉ざされ死活問題に陥っている農家に対して、損害賠償、運転資金確保、原木の処理と確保に対し早急な支援策を求める要望書を提出。**除染**については、汚染状況重点調査地域に指定された8市町と一体となった、取り組みを要請。今後とも、万全な放射能対策を目指し取り組んで参ります。



部会活動

県民生活の安全・安心、豊かな社会づくりのための様々な政策立案・提言を行っています。

経済産業部会

神奈川県を訪問し、成果をあげた**企業誘致戦略**を調査した。「インバスト神奈川」では、新規雇用や県内企業への発注確保という経済効果を重視し、実現しているのが特徴である。また、建設中の「圏央道(さがみ縦貫道路)」を調査した。全線開通になれば、東北道や北関東を經由して、栃木県の新たな経済戦略の展望が広がる。**経済活性化策**を最重要項目として提言を続けていきたい。



生活環境部会

沖縄県CO₂削減協議会を訪問し、**全国に先駆けた節電対策**や小水力発電について調査した。節電=我慢との印象が一変した。効果が絶大である「空調機器の更新」によって、電気料金が削減されるため、設備更新の初期投資分をカバー、実質投資ゼロで200箇所以上の実績をあげている、非常に参考になる取組だった。我々は早速、県内施設の電力管理やLED導入等について提案した。現在、当部会は**医療、福祉の充実、エネルギー問題**等について積極的提言を続けている。

文教警察部会

兵庫県教育委員会を訪問し、高等特別支援学校と多部制単位制高校とを併設した先例を調査してきた。併設に至った経緯や期待される教育効果等について伺えたことは、**本県の高等特別支援学校整備**を議論する上で大きな収穫であった。その他、**教育事務所の機能強化**、少人数学級の推進や学力・道徳力の向上策、公立高校の特色化推進、治安維持や交通事故抑止に寄与する政策等についての提案を行った。

ご意見・ご提言をお待ちしています

栃木の山や川などは、県民はじめ訪れる人々にとって貴重な財産であります。我々は、こんな時だからこそ、栃木の山や川の魅力や素晴らしさ、そしてその恩恵や役割を新たに認識すると共に、これに関心を高め理解を深めて、この貴重な財産を守り育てることは、後世のみならず現在の活力の源泉として極めて重要だと考えるのであります。そこで、県民が誇りと愛着を持つことのできる栃木の美しい山と川をはぐくみ、次世代に引き継ぐことを目的とし、**栃木の山と川の環境保全、再生及び適正な利用**を図るためにも、「**栃木県山の日・川の日**」(仮称)の制定を**提案したい**と考えて居ります。皆様の率直なご意見・ご提言を受け賜りたいと存じます。



栃木県政に対するご意見・ご要望は、私たち自民党栃木県議会議員へどうぞ

とちぎ自民党議員会

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-22 (自民党栃木県連) TEL.028-622-4100 FAX.028-622-3400

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 (とちぎ自民党議員会) TEL.028-623-3708 FAX.028-623-3725

●とちぎ自民党ホームページ▶▶

とちぎ自民党

検索

本紙面は、とちぎ自民党議員会の政策調査活動と現時点での結果を報告し、県民の皆様から、本会及び本会所属議員にご意見ご提言をお願いする双方向通信を目指して作成致しました。皆様から忌憚のない声をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。